

# Rohm Music Friends<sup>♯</sup>

ローム ミュージック フレンズ

2019.10 | No.9

—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—



ヨハネス・フェルメール「ギターを弾く女性」  
The Guitar Player  
© Bridgeman Images /amanaimages



ローム ミュージック ファンデーションは  
音楽を通して  
豊かな文化をつくることを  
目指しています。



# Rohm Music Friends

No.9  
2019.10

## 目次

- P03 活躍する奨学生 インタビュー
- P07 ローム ミュージック フェスティバル2019
- P13 2019年度 奨学生のご紹介
- P15 2018年度奨学生 報告会  
2019年度奨学生 認定式
- P16 ローム ミュージック ファンデーション  
スカラシップ コンサートVol.20~22 ~ロマン派の調べ~
- P19 京都・国際音楽学生フェスティバル2019
- P21 ローム ミュージック セミナー2019(宮田大・チェロクラス)
- P23 ローム ミュージック ファンデーション  
音楽セミナー2019 (管楽器クラス)
- P25 ローム クラシック スペシャル  
日本フィル エデュケーション・プログラム  
小学生からのクラシック・コンサート2019  
  
日本フィル 夏休みコンサート2019
- P26 ローム ミュージック フレンズからのお便り
- P33 ロームシアター京都
- P37 奨学生一覧

### 「ローム ミュージック フレンズ」とは

1991年の創立時以来、若い音楽家育成のためのさまざまな事業で関わった音楽家。  
2019年10月現在 計4,624人

※複数の事業で関わった音楽家がいるため、各事業の人数合計とは一致しない。

奨学生	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の給付。	480人
音楽在外研究生	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。	64人
ミュージックセミナー受講生	ローム ミュージック フレンズが講師となり、 世界を舞台に活躍する音楽家の育成を目的としたセミナー。	5人
音楽セミナー受講生	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。 現在までに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施。	333人
京都・国際音楽学生フェスティバル出演者	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から 音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。	2,625人
小澤征爾音楽塾 塾生	オペラやオーケストラを通じて若手音楽家を育成するプロジェクト。	1,363人



# 活躍する 奨学生 インタビュー

VOL.9

*Tetsuro Ban*

**阪 哲朗** [指揮]

1992、1993年度奨学生

給付時の在籍学校:  
ウィーン国立音楽大学



© Florian Hammerich

## Profile

欧米での客演が数多く、約40に及びオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を取めている。2008/09年年末年始には、ウィーン・フォルクスオーパーで、同劇場の年間のハイライトとも言えるべき公演である「こうもり」を指揮し、大変な話題となった。

これまでに、ビール市立歌劇場(スイス・ベルン州)専属指揮者、ブランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場(ドイツ・チューリンゲン州)音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者、レーゲンスブルク歌劇場(ドイツ・バイエルン州)音楽総監督を歴任。2019年4月より山形交響楽団の常任指揮者に就任。

第44回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。京都府文化賞奨励賞、ABC国際音楽賞、京都市芸術新人賞、第2回ホテルオークラ音楽賞、第12回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第26回藤堂顕一郎音楽褒賞受賞。

ローム ミュージック フェスティバル2019のオーケストラコンサートを指揮した阪哲朗さんは、長らくヨーロッパを舞台にオーケストラとオペラの舞台で経験と活躍を重ねてきた方です。今では貴重ともいえる、歌劇場のピアノ弾きから「たたき上げ」で育ったマエストロ。少年の日から留学時代の思い出まで、縦横無尽に話っていました。

#### — マエストロは京都ご出身ですよ？

そうです。京都の人には「下から来はったんね」と言われる伏見です。大学までずっと京都でした。

#### — どんな少年時代だったのですか？

父がバッハ以前の音楽が大好きなレコードコレクターでしてね。ルネサンスの宗教曲やオルガンを集めてました。僕はピアノも習っていて、中学のころにオーケストラの曲を編曲したり、友達とアンサンブルしたり…。みんなでやるのが好きだったな。音楽もスポーツも団体競技が良かった。でも、ほとんど野球に明け暮れていたかな。フォアボール選んで出塁するともう3塁にいる！みたいなタイプでした。ところが高校のとき、試合で牽制球にひっかかって靭帯を断絶しましてね。それで野球部を休んでいるときに合唱部から指揮者として声がかかって指揮を始めたんです。

#### — 合唱もお好きだったの？

ええ。先生が声楽出身の方で、モーツァルトの『レクイエム』やハイドンの『天地創造』を原語でやってくださって「ああ、この世界は良いなあ…」と思って。本当は僕、合唱の指揮者になりたかったんです。で、「合唱の指揮がやりたいなら、作曲を学んでからでも遅くはない」と言われて京都市立芸術大学に進みました。そこには7歳違いの佐渡裕さんが創設したミュージカルグループがあって、そこで指揮しているうちに



©佐々木卓男

舞台モノにも惹かれてしまっていてね。「どうも阪は作曲じゃなくて指揮がやりたいらしい」とバレてしまい(笑)、指揮者になるならやるべきことはこれこれだ…と仰っていただき、誠にありがたい環境で卒業したのです。1990年でした。そしてほんの旅行のつもりでウィーンに行ったら、ウィーン国立音楽大学で指揮の講習会があって、3カ月で戻る予定がいついてしまったのです。

#### — ロームの奨学金で学んだのは1992～1993年でしたよね？

そうです。2年間講習会に通い詰めて、エステルライヒャー先生から可愛がってもらい、もっと勉強を続けようと思っていたらスイスのオーディションに合格しましてね。先生も「オペラをやりたいなら歌劇場の現場で学んだ方が良い。万がダメだったら帰っておいで」と言ってくださり、スイスで振りながらウィーンで学ぶという両方を行き来しているころでしたね、奨学金をいただいていたのは。

#### — スイスの劇場ではどんな体験をなさったのですか？

ビールと言う場所でした。世界でも最も小さい部類の劇場です、300席くらいしかない。

第1指揮者とサブ指揮者と僕の3人体制で普段はピアノ(コレペティートル)もやっていました。そこでオペラ1演目につき最低3回は振らせてもらえたのが本当に良い修行でしたね。年間だと30回くらいかな。歌手とはピアノでほんの打ち合わせ程度やって、オケとはぶっつけ本番。第1指揮者がやっている指揮と違うやり方もトライして、失敗したり成功したりを繰り返しながら



奨学生当時の写真

いう具合にね。

当時は楽譜の読めない歌手もたくさんいたんですよ。そういう演奏者にピアノ弾いてカセットテープで録音するのが、僕の最初の仕事でした。ところがその人たちの集中力と長年の勤はずごく、稽古が始まると楽譜に書いていないコミカルな味なんかを見事に出すわけ。たまげましたね。

—指揮者や歌手にカリスマ的な人がいた時代ですものね。

ウィーン国立音楽大学に留学していたころは、まだカルロス・クライバーがウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を振っていたんですよ。ある日、彼がオケと練習するというのでウィーン楽友協会の客席でずっと待っていたら、来た来た!カメラに映りこまないように椅子に隠れて耳をダンボにしていると、いきなりモーツァルトの「リンツ」交響曲の終楽章が始まりましてね、普通は1・2・1・2 (in2) で振ってワンフレーズ (8小節) 進むのに、彼は4小節に1回しか振らないから2小節しか進んでいないように見える。「これがトリックなんだよ」とか言って笑っている。彼の素晴らしい演奏と独自の指揮の秘密に触れた気がして強烈に印象に残っていますね。

—その留学時代を経てドイツ中心に27年ほどヨーロッパで活動され、指揮したオペラの演目70以上、公演回数1,000回とは、それ自体が財産ですね。

地方の劇場であればあるほど不測の事態が起きる可能性が多いんです。楽譜がない! 公演中に停電! 回り舞台が動かない! しかも本番前に多くの歌手と話さなくちゃいけない…。そういうなかでいかに集中力を保ち、かつリラックスするか。本番の連続だから、自分が緊張する暇はなく「緊張しなくて大丈夫」という側に回るので、ずいぶん鍛えられました。

あと、芸術と人々の近さというのかな? 近所のパン屋のおばさんが「昨日見たわよ!」って言うてくれたり、目の前で自転車を急停車した人がいて何かと思ったら「あなたの『トリスタンとイゾルデ』良かった」って言葉をかけてくれたり。芸術が特別に高尚なものというより日常のコミュニケーションのひとつなんです。音楽・公演・オペラと人の距離がとっても近い。それを肌で感じたのも良かったな。

—お話をうかがっていると、学びと体験の環境が随分大事なのが分かります。

そして経験をどう応用していくかが大事だと思います。「あっ、これだ!」というものが道端に転がっているようなものです。それを応用できるかどうか。そして芸術や芸術外の人々も含めて、分野を越えた人々と話ができるレベルになれば最高です。そうすればどんなコンタクトも可能になる。



©佐々木卓男

ローム ミュージック フェスティバル2019  
オーケストラ コンサートにて



©佐々木卓男

— 2019年4月から山形交響楽団の常任指揮者としても活動されていますが、これから指揮者としてはどんな風にやってみたいですか？

最近気付きだしたことで、8分音符が4分音符の半分というのは学校でも習うし、当たり前のことと認識していましたが、音楽家ってこれを守るべき存在ではないんじゃないかとかね。もちろんアレグロがアンダンテより遅くなってしまったらいけないだろうけれど、音楽の規則とは守るために勉強するのではなくて、どれだけ自由に遊べるかに価値を見出して表現できるかが大事ではないでしょうか。

今の時代は「あれはダメ、これもダメ」と規則や法律でがんじがらめになる傾向がありますよね。でも音楽はそうなってほしくない。答えがないものを僕らはやっているんだ、という意識がある。指揮者が率先して正解のみ求めているら、あんまり良い影響はないでしょう？そして若いメンバーがオーケストラにいたら、彼らがこちらの考えを欲しがればどんどん与えて出すし、そうでなければ無理強いほしくない…という感じかな。

— 状況によって選択肢を示す？

こうやったらお洒落ですよ、カッコいいですよとは言うけど、これが正しいとは一言も言わない。ある程度の決めごとはあるけれど、ことオーケストラに関しては、あまり決め打ちしたくないんですよ。

— 阪さんがつくるオーケストラ、楽しそうだな。

モノの考え方、発想や連想、想像力と豊かなイマジネーションは誰よりも持っていないといけないのが指揮者だと思います。正確な耳は大事ですが、ウン発見器みたいな指揮者じゃ周りはビビっちゃうだけ。アイデアの玉手箱みたいなほうが大事なんですよ。

それがアートをつくる源ではないでしょうか。



©佐々木卓男



## INTERVIEWER

朝岡 聡  
Satoshi Asaoka

テレビ朝日アナウンサーとして活躍。フリーになってからはクラシックコンサートの司会や企画構成にも活動のフィールドを広げ、芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。

## □ 今後の演奏会予定

- 古閑裕而記念音楽祭2019  
2019年11月10日(日) ぶくしん夢の音楽堂大ホール
- 日本フィルハーモニー交響楽団  
第39回宇都宮第九合唱団演奏会  
2019年12月1日(日) 宇都宮市文化会館大ホール
- オリックス劇場 ニュー・イヤール・コンサート2020  
2020年1月2日(木) オリックス劇場
- 山響ニューイヤール  
～阪哲朗 常任指揮者就任記念シリーズVol.2～  
2020年1月11日(土) 山形テルサホール
- ニュー・イヤール・コンサート2020  
新日本フィルハーモニー交響楽団  
2020年1月13日(月) 三重県文化会館大ホール
- 日本フィル杉並公会堂シリーズ2019-20【第5回】  
2020年1月30日(木) 杉並公会堂

国内外で活躍するローム ミュージック フレンズなど豪華出演者による音楽祭!

# ROHM MUSIC FESTIVAL

ローム ミュージック フェスティバル 2019

2019.4/20[土]・4/21[日] ロームシアター京都  
[メインホール/サウスホール/ローム・スクエア]

2019年4月、ロームシアター京都で音楽の祭典「ローム ミュージック フェスティバル」を開催しました。このフェスティバルは、ロームシアター京都がオープンした2016年に始まり、今年は4回目となります。メインホールとサウスホールではこれまでの支援事業で関わった国内外で活躍する「ローム ミュージック フレンズ」31人を中心とした豪華メンバーによる5公演を、またローム・スクエアに設置された野外特設ステージでは学生による無料のコンサートを開催しました。ロームシアター京都全体が音楽であふれ、多くのお客様にご来場いただいたこのフェスティバルをナビゲーターの朝岡聡さんのレポートと写真で振り返ってみましょう。



今回は名残の桜もまだ楽しめる時期の開催となったローム ミュージック フェスティバル。オーケストラからソロリサイタルまで、まさに華やかさにあふれた演奏陣とプログラムが多くファンを魅了しました。

ナビゲーター 朝岡 聡





# リレー コンサートA

## 歌手と器楽奏者による「モーツァルト・ガラ・コンサート」

4/20 13:00～ 〈サウスホール〉

前半は「トルコ行進曲」や室内楽、後半は「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」から有名アリアや重唱を中心に構成したオール・モーツァルト・プログラム。密度の濃い器楽と歌が楽しめました。特に、オペラ第一線で活躍する歌手陣は、生き生きとした所作や表情も加わり、オペラの愉悦が存分に伝わるステージとなりました。

市原愛(ソプラノ)、藤木大地(カウンターテナー)、町英和(バリトン)、吉田友昭(ピアノ)、倉田優(フルート)、大江馨(ヴァイオリン)、田原綾子(ヴィオラ)、高木慶太(チェロ)、北爪裕道(作曲)、朝岡聡(ナビゲーター)



**市原 愛** [ソプラノ]  
(2007年度奨学生)

フェスティバルという名にふさわしく、ロームシアター京都に世界中から期待の音楽家が集結した華やかな2日間! すべての出演者が、感謝と御恩返しという強い絆でつながっているようで、改めて音楽の力を感しました。ご支援のもとレッスンに明け暮れた留学の日々がよみがえり、感慨深く、特別な時間を過ごしました。

©Akira Muto



**吉田 友昭** [ピアノ]  
(2011～2013年度奨学生)

35歳で天に召された天才モーツァルトの作曲数はおよそ600曲。いつの間にかその年齢を超えていた私。もっとモーツァルト、そして音楽の魅力を伝えたいというやる気に燃えています。



**藤木 大地** [カウンターテナー]  
(2008～2011年度奨学生)

演奏はいつも感謝とともに…と思っています。今回、この思いをより一層強くしました。みんなが集まる「広場」たる音楽会の中心には「音楽」があり、無数の人が点として、いろいろな気持ちでそこに関わっています。その点を丁寧に結んでくださった皆さんに、私を演奏家にしてくださったローム ミュージック ファンデーションに、心から感謝申し上げます。

©hiromasa



**田原 綾子** [ヴィオラ]  
(2015、2016年度奨学生)

初めて立ったロームシアター京都が、ずっと憧れていたローム ミュージック フェスティバルの公演であったこと、心からの幸せを感じています。刺激的で、一生の宝物となる時間でした。ご恩返しが少ないでもできるよう、これからも精進します。

©Hisashi Morifuji



**町 英和** [バリトン]  
(2008.10～2010.9音楽在外研究生)

器楽と声楽を混ぜた楽しいプログラム、最後の出演者全員での北爪裕道さん編曲によるアヴェ・ヴェルム・コルプスでは、北爪さんのイメージを曲にしていこう過程が面白く、音楽はコミュニケーションなんだと実感しました。



**北爪 裕道** [作曲]  
(2016、2017年度奨学生)

編曲にあたって、〈アヴェ・ヴェルム・コルプス〉と深く向き合った期間、原曲の書法や背景・テキストさまざまな演奏や既に数多く存在する編曲版を見渡し、原曲の本質を見極めながらふさわしい形を模索しました。さらに、指揮という形で演奏家の皆様と一緒でき、どちらも充実した機会として、多くの刺激をいただきました。

©IRCAM  
- Deborah Lopatin

## リレー コンサートB ローム ミュージック フレンズ

木管&弦楽スペシャル・アンサンブル 4/20 18:30~ 〈サウスホール〉

9人の木管アンサンブルによる「セビリヤの理髪師」「カルメン」ではソロを務めた荒給理子の「歌うオーボエ」に驚嘆!声と同じように人間の喜怒哀楽を歌い上げる技量に圧倒されました。

弦楽アンサンブルのメンデルスゾーンは、洗練された色合いのタペストリーのような美しさ。伸びやかにしてふくよかな味わいのなかに、鮮やかな情熱や激しさもある秀逸なる演奏でした。

(木管アンサンブル) 濱崎由紀、岡岡奏純(クラリネット)、荒給理子、本多啓佑(オーボエ)、黒木綾子、岩佐雅美(ファゴット)、高橋臣直、熊井雁(ホルン)、高橋洋太(コントラバス)  
(弦楽アンサンブル) 島田真千子、青木調、中島麻、吉田南(ヴァイオリン)、金丸葉子、須田祥子(ヴィオラ)、横坂源、渡邊方子(チェロ)



**濱崎 由紀** [クラリネット]  
(1998年度音楽セミナー受講生、  
2000年小澤征爾音楽塾 塾生)

桜が散りかけのなんとも言えぬステキな表情の京都で、集まればホッとするファミリーのような仲間と音楽をつくる時間は本当にあつという間だけかええないものでした。これからも常に向上心をもって邁進してまいります。



**島田 真千子** [ヴァイオリン]  
(1999、2000年度奨学生)

室内楽としてのパラスを大切にしつつ、一人ひとりの音色が客席まで伝わるように、8人でありとあらゆる試行錯誤をしながら音楽づくりをしました。懐かしい同世代との再会や、若い奏者との出会い、また他公演の演奏家の方々とも貴重な交流ができ、かけがえのない時間でした。



**金丸 葉子** [ヴィオラ]  
(1994年度音楽セミナー受講生、2002、2003年度奨学生)

普段オランダに住んでおり、所属するコンセルトヘボウ管弦楽団のツアーで2年おきに京都に来ますが、京都に宿泊したのは初めてで、懇親会まで開いてくださり感激しました。ロームシアター京都が市民の集まるスポットとなり、熱心に耳を傾けるお客様が多かった証だと感じました。共演者の8人の個性もそれぞれで、とても良い仲間に出会えました。



**荒 給理子** [オーボエ]  
(2002~2007年小澤征爾音楽塾 塾生、2013年度奨学生)

私の大好きな木管八重奏という編成で、セビリヤの理髪師とカルメンを演奏させていただきました。この2曲は小澤征爾音楽塾でも勉強した思い出の曲です。演奏も人間性も素晴らしい方々と共演できたこと、とても有意義な時間になりました。



**吉田 南** [ヴァイオリン]  
(2014、2015年度奨学生)

素晴らしい先輩の皆様と演奏できたこと、心から感謝申し上げます。関西出身の私は京都の空気と音楽を感じて、とても懐かしく温かい気持ちになり、幸せに包まれてポストンに戻りました。「ありがとうございました」という気持ちでいっぱいです!!



**横坂 源** [チェロ]  
(2008、2009年度奨学生)

留学期間を終えた後も、このような素晴らしいコンサートのお機会をいただき、お客様に大好きなメンデルスゾーンをお聴きいただけたことは、忘れられない大切な経験となりました。

## リレー コンサートC 河村尚子ピアノ・リサイタル

~偉大なるベートーヴェン~

4/21 17:30~ 〈サウスホール〉

2019年が日本デビュー15周年の河村尚子によるベートーヴェン・プログラムのリサイタル。作曲者の思索を音でたどるかのごとき世界は、彼女の揺るぎない信念を感じさせる演奏。サウスホールでぜひたくに響きを感じ、彫りの深いベートーヴェンの世界をじっくり味わいました。



**河村 尚子** [ピアノ]  
(2014、2015年度奨学生)

初めてのローム ミュージック フェスティバル。さまざまな道をたどってきた音楽家たちが、「ローム ミュージック ファンデーション」という同じ財団から援助をいただいたことを共通項に、今回のように音楽祭で再会し、それぞれの人生経験を交換できたことは素晴らしいと思います。これからも音楽家を目指す若者たちへのサポートを、どうぞよろしく願っています!

©Marco Borggreve

## オーケストラ コンサートI 阪哲朗と京都市交響楽団による“ベルリオーズ 没後150年記念”スペシャル・プログラム 4/20 15:30~ (メインホール)

メモリアルイヤーのベルリオーズの鬼才を表現すべく大オーケストラがステージに出現。前半は「ロメオとジュリエット」がそのまま舞台上に現れたかのような愛のバレエに客席はうっとり。後半の「幻想交響曲」は作品解説と各曲の聴きどころのツボを確認してから全曲演奏で、ユニークなこの作品を堪能できました。

阪哲朗(指揮)、清水健太、太田朱音(バレエ)、朝岡聡(ナビゲート)、京都市交響楽団(管弦楽)〈コンサートマスター:泉原隆志〉



## オーケストラ コンサートII 二大コンチェルトの饗宴

～日下紗矢子・反田恭平 with 京都市交響楽団～ 4/21 14:30~ (メインホール)

ベルリンでコンサートマスターとして活躍する日下紗矢子のメンデルスゾーンは、均整美のなかに深い情感とたぎるエネルギーの両方を感じさせる名演でした。圧巻は反田恭平のチャイコフスキー。稀に見る情熱と作品への愛、超絶技巧を駆使し猛烈なる推進力で弾ききった直後、ロームシアター京都は熱狂と興奮のつぼと化しました。

阪哲朗(指揮)、日下紗矢子(ヴァイオリン)、反田恭平(ピアノ)、朝岡聡(ナビゲート)、京都市交響楽団(管弦楽)〈コンサートマスター:泉原隆志〉



©佐々木卓男



©Kiyooki Sasahara

**Voice** 日下 紗矢子 [ヴァイオリン]  
(2003～2005年度奨学生)

指揮者の阪さんとは初対面でしたが、音楽的な話だけでなく、ベルリンのローカルな話題まで楽しくお話ししました。その阪さんの素晴らしいサポートを受け、京都市交響楽団の方たちとも音楽を通してたくさん会話ができたように思います。短い京都滞在で、ご無沙汰していた音楽仲間たちとも再会でき、ルームのご支援を通してのつながり、まさにルーム ミュージック フレンズという言葉がぴったりのように感じました。



**Voice** 反田 恭平 [ピアノ]  
(2014, 2015年度奨学生)

きっと一生運忘れない思い出深い1日となりました。チャイコフスキーのピアノ協奏曲第2番。お客様も集中して最後まで聴いてくださり感謝感激です。オーケストラ、指揮者もみんなが初めて楽譜を手にし、音を出して、試行錯誤。演奏会では同じ目線になり方向性を決め、音楽に身を任せる。本番中とても感慨深く、改めてチャイコフスキーが好きになりました。京都市交響楽団、阪マエストロ、京都の皆さん、それからルームさん!!ありがとうございました。



©Florian Hammerich

**Voice** 阪 哲朗 [指揮]  
(1992, 1993年度奨学生)

今回で2度目の出演です。このような素晴らしいフェスティバルが開催できるのも、ルーム ミュージック ファンデーションが多くの優秀な学生を支援してこられたたまものではないでしょうか。ルーム ミュージック フレンズ同士、世代を超えた同窓会のような雰囲気のおかげで、素晴らしい時間を過ごしました。このフェスティバルがすべての音楽ファンに愛され、次代のルーム ミュージック フレンズの目標のような存在となるよう、ますますの発展を願っております。



**Voice** 泉原 隆志 [ヴァイオリン]  
(2002年小澤征爾音楽塾 塾生、  
2003年度奨学生)

今年も大変豪華なソリストとの共演が刺激的でした! めったに演奏されることのないチャイコフスキーのピアノ協奏曲第2番ですが、第2楽章に長大なヴァイオリンソロがあるのですが、ホルンの響きに助けられ気持ちよく演奏できました。改めてこの作品の素晴らしさを実感し、もっと演奏されるべき曲ではないかと思ったり。来年のフェスティバルも楽しみにしています!

## ルーム・スクエアコンサート 〈野外特設ステージ〉

ルームシアター京都の中庭から響いたのは地元をはじめとする関西の中学生による吹奏楽の数々。それぞれのステージに独自の動きや演出があって、つめかけた聴衆に魅力をアピール。多彩なプログラムや青春パフォーマンスにお客様も大喜び。ステージ上には留学生、客席や中庭には海外からの観光客もいて国際的な空気を感じられたのも素敵でした。

4/20

12:15～  
長岡京市立長岡中学校  
吹奏楽部



14:45～  
京都府立京都すばる高等学校  
吹奏楽部



17:45～  
箕面自由学園高等学校  
吹奏楽部ゴールデンベアーズ



4/21

13:45～  
洛南高等学校吹奏楽部



16:45～  
京都両洋高等学校吹奏楽部  
Kyoto Ryoyo Windband HERZ



今回のフェスティバルを評すれば「テーマの明確なコンサート」「多彩なアーティストと演奏形態」がキーワードの2日間。ローム ミュージック フレンズならではの確かな演奏力と豊かな経験がさまざまに重なりあってでき上がるステージは、ここでしか味わえない魅力に溢れていました。全コンサートを俯瞰すると、ひとりでつくる音楽と仲間であそぶ音楽の両方の素晴らしさを実感できる構成でもありました。プログラムの充実ぶりは大したもの。その意味で、今後のフェスティバルは、お客様にこれまで以上にゆったりと複数のコンサートを聴いていただきたい。願わくは、1日通してロームシアター京都で過ごしていただけたら最高です!

文：朝岡 聡

## ローム ミュージック フェスティバル懇親会

国内外から集まったローム ミュージック フレンズが一堂に会し、親睦を深めました。





「ヴァイオリン」  
有富 萌々子  
ありとみ ももこ

ウィーン国立音楽大学  
2019年度



「ピアノ」  
五十嵐 薫子  
いしがし かほこ

桐朋学園大学大学院  
2018、2019年度



「ピアノ」  
伊東 裕  
いとう ゆう

ザルツブルク・モーツァルテウム大学  
2017、2019年度



「ヴァイオリン」  
大関 万結  
おおせき まゆ

桐朋学園大学  
ウィーン私立音楽院  
2019年度



「ピアノ」  
太田 糸音  
おただ じゆん

東京音楽大学  
2019年度



「ピアノ」  
小野田 有紗  
おのだ ありさ

英国王立音楽院  
大学院  
2018、2019年度



「チェロ」  
香月 麗  
かづき りか

ローザンヌ  
高等音楽院大学院  
2019年度



「ヴァイオリン」  
城戸 かれん  
じまど かれん

東京藝術大学  
大学院  
2018、2019年度



「ピアノ」  
小井土 文哉  
こいど ふみや

イモラ音楽院  
2019年度



「ピアノ」  
阪田 知樹  
えびな ともき

ハノーファー音楽  
演劇メディア大学  
大学院  
2019年度



「ピアノ」  
佐藤 采香  
さいとう しずか

ベルン芸術大学  
大学院  
2018、2019年度



「ピアノ」  
佐藤 元洋  
さいとう もとひろ

ベルリン芸術大学  
大学院  
2019年度



「ヴァイオリン」  
篠原 悠那  
たかはら ゆな

桐朋学園大学  
大学院  
2018、2019年度



「音楽学」  
菅沼 起二  
すがぬま せいじ

バーゼル・スコラ・  
カントルム  
2019年度



「ピアノ」  
千葉 遥 郎  
ちば はやと

東京藝術大学  
2019年度



ヴァイオリン  
土岐 祐奈  
ちぎ ゆな

ベルリン芸術大学  
大学院  
2019年度

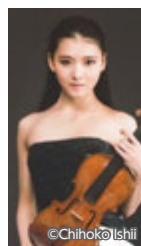
©ChihokoIshii



ヴァイオリン  
中村 太地  
なかむら たいち

ウィーン国立音楽大学  
エリザベート王妃  
王立音楽院  
2018、2019年度

©kai ueda



ヴァイオリン  
服部 百音  
はっとり ひよ

桐朋学園大学  
2019年度

©ChihokoIshii



ピアノ  
樋口 一朗  
ひごち いちろう

桐朋学園大学  
大学院  
2018、2019年度



ピアノ  
久末 航  
ひくすえ わたる

ベルリン芸術大学  
大学院  
2018、2019年度

©DanielDelang



ヴァイオリン  
榎本 瑠音  
えのもと るお

バリ地方音楽院  
2018、2019年度

©Shigeto Imura



ピアノ  
藤田 真央  
ふじた まお

東京音楽大学  
2019年度

©EICHI IKEDA



ヴァイオリン  
外村 理紗  
ほかむら りせ

東京音楽大学  
付属高等学校  
2018、2019年度



ヴァイオリン  
松島 理紗  
まじま りせ

ウィーン私立  
音楽芸術大学  
2019年度



作曲  
向井 響  
むかい ひびき

ハーグ王立音楽院  
ソロジー研究所大学院  
アントワープ王立音楽大学大学院  
2019年度

©Ayane Shindo



作曲  
向井 航  
むかい たく

マンハイム国立  
音楽舞台芸術大学  
2019年度

©Ayane Shindo



ヴァイオリン  
森田 啓佑  
もりた けいすけ

ザール音楽大学  
2018、2019年度



ピアノ  
八木 瑛子  
やぎ えいこ

ザルツブルク・  
モーツァルテウム大学  
2018、2019年度



ヴァイオリン  
安田 理沙  
やすだ りせ

東京藝術大学  
2017、2019年度

©Shigeto Imura



ピアノ  
吉見 友貴  
よしみ ゆうき

桐朋学園大学  
2019年度

©Kei Uesugi



## 2018年度 奨学生 報告会 2019年度奨学生 認定式

2019年8月、ロームの本社にて、2018年度奨学生の報告会と2019年度奨学生の認定式を開催し、41人の奨学生が京都に集いました。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションやローム株式会社の事業のご紹介の後、ローム本社の工場見学を行い、奨学生より今後1年間の抱負や奨学金給付期間中の勉学状況報告を発表していただきました。

また同時期で、研鑽の成果披露のためのスカラシップコンサートや、奨学生同士で交流を深めていただくための懇親会を開催しました。

2019.

8/2 報告会、認定式

8/3 スカラシップ コンサートVol.20

8/4 スカラシップ コンサートVol.21

8/25 スカラシップ コンサートVol.22

8/26 報告会、認定式

[8/2 集合写真]



[8/26 集合写真]







次世代を担う若き音楽家たちが奨学生期間の成果を披露!

ローム ミュージック ファンデーション

スカラシップ コンサートVol.20~22 ~ロマン派の調べ~

奨学金給付期間中または給付終了後1~2年の音楽学生が出演するコンサートです。音楽ファンの拡大と、若い音楽家への演奏機会の提供を目的に2013年より継続して開催しています。

2019年8月の3公演では、今年のテーマ『ロマン派』に合わせて、2017、2018年度奨学生27人を中心とした出演者が、さまざまな楽器のソロ演奏やアンサンブルなどで、フレッシュな演奏を披露し、約1,100人のお客様にお楽しみいただきました。



## Vol. 20

### 京都府立府民ホール アルティ

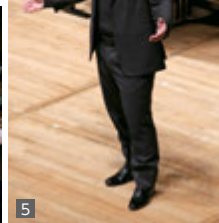
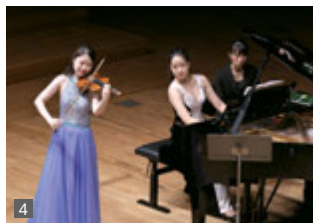


- 1 高木凛々子[ヴァイオリン]、田村響[ピアノ]
- 4 上野明子[ヴァイオリン]、黒田哲平[ピアノ]
- 7 小野田有紗[ピアノ]

- 2 水野優也[チェロ]、黒田哲平[ピアノ]
- 5 吉江美桜[ヴァイオリン]、五十嵐薫子[ピアノ]
- 8 黒田哲平[ピアノ]

- 3 榎本瑠音[チェロ]、越知晴子[ピアノ]
- 6 中村太地[ヴァイオリン]、小池美奈[ピアノ]
- 9 荒井優利奈[ヴァイオリン]、五十嵐薫子[ピアノ]

## Vol. 21



1 森田啓佑[チェロ]

2 久末航[ピアノ]

3 外村理紗[ヴァイオリン]、五十嵐薫子[ピアノ]

4 小川恭子[ヴァイオリン]、五十嵐薫子[ピアノ]

5 深瀬康[フルート]、梅村知世[ピアノ]

6 瀧本実里[フルート]、城戸かれん[ヴァイオリン]、五十嵐薫子[ピアノ]

7 北川千紗[ヴァイオリン]、佐藤晴真[チェロ]、久末航[ピアノ]



1 八木瑛子[フルート]、山田唯雄[クラシックギター]    2 篠原悠那[ヴァイオリン]、樋口一朗[ピアノ]    3 丸山凪乃[ピアノ]    4 野上真梨子[ピアノ]  
5 樋口一朗[ピアノ]    6 又吉秀樹[テノール]、内藤典子[ピアノ]    7 佐藤采花[ユーフォニアム]、塚本実美香[ピアノ]    8 野上真梨子[ピアノ]、樋口一朗[ピアノ]

Voice

## お客様の声

- ・緊張感、バラエティに富んだロマン派の演奏会、楽しませていただきました。
- ・胸が熱くなるような演奏ばかりでした。ありがとうございました。
- ・それぞれの分野で頑張っている姿、演奏の質の高さに感動を覚えました。豊かな音色をリーズナブルな価格で拝聴させていただけたことがうれしかったです。
- ・ご出演された方々のますますのご活躍を祈ってやみません。



# 京都・国際音楽学生フェスティバル2019

世界の選ばれし若き音楽学生が京都に集う!

## 京都・国際音楽学生フェスティバル2019



日本で世界各地の音楽大学の演奏が聴ける…そんな唯一無二の夢の音楽祭があることをご存知でしょうか。

「京都・国際音楽学生フェスティバル」は1993年より毎年、京都の春を彩る音楽イベントとして定着しており、今回で27回目を迎えます。このフェスティバルは「音楽」を通じた国際交流と音楽家の育成を目的に、世界の代表的な音楽学校より選ばれた学生たちを京都に招き開催するものです。

世界各国の学生たちが弦楽器、管楽器、ピアノ、歌などさまざまなジャンルでソロ、室内楽、オーケストラの演奏を行いました。連日満員のお客様からは学生たちに惜しみない拍手が送られ、それぞれ笑顔で帰国していきました。

このフェスティバルがなければ決して出会うことのなかった学生たちが交流を深め、これからの音楽生活の糧となったのではないのでしょうか。



国	学校	参加者(人)	国	学校	参加者(人)
アメリカ	ジュリアード音楽院	2	日本	桐朋学園大学	79
オーストリア	ウィーン国立音楽大学	2		東京芸術大学	
フランス	パリ国立高等音楽院	3		国立音楽大学	
ドイツ	ベルリン芸術大学	2		武蔵野音楽大学	
ロシア	チャイコフスキー国立モスクワ音楽院	1		東京音楽大学	
イタリア	ミラノ・ヴェルディ音楽院	4		大阪音楽大学	
チェコ	プラハ国立芸術アカデミー	3		京都市立芸術大学	
スペイン	マドリード王立高等音楽院	2		愛知県立芸術大学	
ノルウェー	ノルウェー国立音楽大学	4		大阪芸術大学	
				同志社女子大学	
				相愛大学	
				くらしき作陽大学	
				洗足学園音楽大学	
				エリザベト音楽大学	

2019.5/25～5/29  
京都府立府民ホール アルティ

海外9カ国9校23人、国内14校79人、合計102人



*Voice*

## お客様の声

- ・日頃クラシックを聴く機会がないなかで、このフェスティバルでクラシックを身近に感じることができます。
- ・世界の日々成長を続ける音楽家の演奏に触れられる素晴らしい企画であると楽しみにしています。

*Voice*

## 各国参加学生の声

- ・参加させてもらうことが夢だったので、期間中はとても夢のような時間でした。
- ・海外の学生との交流でたくさんの刺激を受け、向上心に繋がった。
- ・このフェスティバルに参加できたことは誇りであり、忘れることのできない素晴らしい経験になりました。

気軽に音楽を楽しんでもらうための  
プレ フェスティバルコンサート  
も開催しました!

2019.4/13

地下鉄京都駅コトチカ広場



演奏:京都市立芸術大学 弦楽四重奏



世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー

## ローム ミュージック セミナー2019

### <宮田大・チェロクラス>



2019年度より新企画として「ローム ミュージック セミナー」を開催しました。今回のクラスは「宮田大・チェロクラス」ということで国内外で活躍するチェリスト、宮田大さんを講師として5人の受講生に対して指導を行いました。1レッスン90分が毎日続き、チェロアンサンブルのレッスンもあるという長時間のレッスンが行われ、受講生たちは多くを学ぶことができました。最終日には成果発表のコンサートが行われ、受講生のソロ、講師のソロに続きチェロアンサンブルの演奏で多くのお客様に楽しんでいただきました。

セミナー:2019.8/5~8/9、コンサート:2019.8/10  
ロームシアター京都 サウスホール

講師:宮田 大(チェロ)

ローム ミュージック ファンデーション2010~2012年度奨学生  
2003、2004年小澤征爾音楽塾塾生

ピアニスト:ジュリアン・ジェルネ

### セミナーの様子



### 受講生



香月 麗



佐山 裕樹



菅井 瑛斗



水野 優也



森田 啓佑

## コンサートの様子



*Voice*

### 講師 宮田 大からのメッセージ

今回のレッスンでは、指導したことが何倍も良い表現になって返ってくるので、私自身も勉強になりました。コンサートでの受講生の皆さんの演奏は、お客様の心をつかむ素晴らしいもので、チェロという楽器を普及させるきっかけにもなったと思います。これを機に日本を代表するチェリストがたくさん生まれて、世界に羽ばたいて欲しいです。



©大森大祐

*Voice*

### 受講生の感想

- ・5日間毎日充実したレッスンを受けることができ、本当に良い経験になりました。憧れの大先輩である宮田大さんの音を舞台上の近い距離で感じることができたことが一番の収穫です。
- ・宮田大さんのチェロは本当に素晴らしく、私にはない考えがたくさんあったのでいろいろと新しいことに挑戦できました。宮田大さんのようにずっと進化し続けたいと思いました。
- ・腕の使い方から一つ一つ細かく教えてもらい、必死に食らいつきながらたくさん材料や弾き方を教えてもらいました。



## ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナー2019(管楽器クラス)

この音楽セミナーは、世界的に活躍している音楽家を講師に迎え、プロの音楽家の育成を目的に1992年より開催しています。

これまでに、「弦楽器クラス」「管楽器クラス」「指揮者クラス」と実施してまいりました。

受講生たちは、6日間の集中したソロと室内楽のレッスンをを行い、朝から晩まで切磋琢磨して音楽を学びました。

また、7日目最終日にはロームシアター京都でコンサートを行い、若い音楽家たちのみずみずしい演奏を多くのお客様にお楽しみいただきました。

### 2019.8/5～8/11

セミナー :2019.8/5～10  
メルパルク京都

コンサート:2019.8/11  
ロームシアター京都 サウスホール



開催回数	開催期間	開催クラス
第1回～第8回	1992～1996	弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
第9回～第13回	1998～2002	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)
第14回～第23回	2003～2005、2007～2013	指揮者
第24回～第28回	2015～2019	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)
	計	



フルート講師 工藤重典のレッスン



オーボエ講師 古部賢一のレッスン



クラリネット講師 山本正治のレッスン



ホルン講師 猪井正幸のレッスン



ファゴット講師 吉田将のレッスン



室内楽のレッスン





コンサート(ソロ)



コンサート(室内楽)



コンサート(講師による模範演奏)



懇親会

Voice

## 講師からのメッセージ

工藤 重典: 音楽は人間的な生活を送る「潤滑油」のような文化活動で、それをサポートしてもらえんというのはとてもうれしいです。

古部 賢一: 今回参加した受講生たちと現場で一緒に演奏できることを楽しみにしています。

一層成長していただけたらと思っています。

山本 正治: 木管五重奏という難しい編成でしたが、管楽器としてとてもありがたい講習内容だったと思います。

猶井 正幸: 受講生はもちろん、先生としても貴重な経験をさせていただきました。

これから活躍する若い方に心からエールを送ります!

吉田 将 : 参加してくれた受講生の皆さんが、はやく我々の仲間に来てくれることを願ってやみません。このセミナーに乾杯!

Voice

## 受講生の感想

- ・この1週間の経験を活かして、先生に認めてもらえるような奏者になれるように頑張ります。
- ・セミナー期間中に新たな課題が見つかったので、セミナーから戻って課題を整理して頑張っています。

# ♪ ローム クラシック スペシャル

## 日本フィル エデュケーション・プログラム 小学生からのクラシック・コンサート2019

「クラシック音楽は敷居が高い」「わかりにくい」というお子様や親御様のために、クラシック音楽を楽しむためのヒントを紹介するコンサートが、ロームシアター京都で開催されました。

日本フィルハーモニー交響楽団の管弦楽により奏でられるサン＝サーンス作曲の「動物の謝肉祭」に込められた音楽的なエッセンスや作曲家の思い、技法などを、ナビゲーターと楽団員たちによる楽しい演劇を交えながら学んでいただき、多くのお客様に喜んでいただきました。

### 2019.5/4 ロームシアター京都 サウスホール



## 日本フィル 夏休みコンサート2019

日本フィルハーモニー交響楽団が、「生のオーケストラ音楽を、親子そろって楽しく、わかりやすく」「やわらかな感性を持つ子どもたちに音楽のもつ力の素晴らしさを届けたい」というコンセプトで44年にわたって行っているファミリーコンサートです。

次世代を担う子どもたちに生の音楽を身近に感じ、触れてもらう場として、これまでに120万人を超える動員数を誇るコンサートで、親子コンサートの先駆的存在でもあり、3世代にわたって親しまれています。

ロームは、2016年から、関東以外で初となるロームシアター京都で開催されている公演を支援しています。

今年は、第1部でオーケストラの名曲を、第2部でスターダンサーズ・バレエ団とともにプロコフィエフのバレエ「シンデレラ」を、そして第3部では来場者の皆さんでオーケストラと歌えるプログラムで盛り上がりました。

公演の前後には、会場ロビーにて「ウェルカムコンサート」や「出演者と子どもたちの懇談会」も行われ、興味津々に聴き入り、質問する姿が見られました。

### 2019.8/24 ロームシアター京都 メインホール



ROOM ミュージック フレンズからの

# お便り

*The letter from rohm music friends*



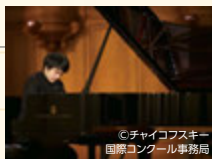
ROOM ミュージック フレンズから届いたご活躍の様子を一部ご紹介します。(順不同)

氏名【専攻】 援助年度  
給付時の在籍学校

## 第16回チャイコフスキー国際コンクールの報告

ふじた まお  
藤田 真央 [ピアノ] 2019年度奨学生  
東京音楽大学

2019年6月に開催された第16回チャイコフスキー国際コンクールに参加し、第2位を受賞しました。そして、サンクトペテルブルグで行われた入賞者ガラコンサートでは、ゲルギエフ・マエストロ&マリンスキー歌劇場管弦楽団と共演することができ、夢のような日々を過ごしました。ROOM ミュージックファンデーションにサポートいただいていることに感謝し、これからもさらに研鑽を積み、高みを目指してまいります。



©チャイコフスキー国際コンクール事務局



©チャイコフスキー国際コンクール事務局  
上/チャイコフスキー国際コンクールにて  
下/入賞者ガラコンサートにてゲルギエフマエストロとともに

## オーケストラ奏者として

はせがわ あきこ  
長谷川 彰子 [チェロ] 2009、2010年度奨学生  
ライブツィヒ音楽大学

留学後は、主にオーケストラ奏者として活動してきました。初めは次から次へと新しい曲を演奏する環境に苦労しましたが、たくさんの作品、指揮者やソリストとの出会いを楽しむことができるようになってきました。自分の未熟さに悩むこともありますが、留学時代にドイツ中の素晴らしいオーケストラの音を聴いたことが、今の自分を助けてくれているように感じます。今年からは、少しずつオーケストラ以外の活動も始めています。これからはオーケストラの経験を、室内楽やソロでも活かしていきたいと思っています。



©大塚雄治



上/所属している新日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会で、チャイコフスキーのピアノコンチェルト第2番を演奏  
下/学部時代にお世話になった宗次ホールでのリサイタル



©EICHI IKEDA



© New Japan Philharmonics



## クリストフ・デルツ作曲コンクール

つかもと えいこ  
塚本 瑛子 [作曲] 2013年度奨学生  
ケルン音楽大学、ハンス・アイスラー音楽大学



©Peter Fischli

2018年、ルツェルン音楽祭との協力で行われた第7回クリストフ・デルツ作曲コンクールにおいて優勝しました。受賞曲であるピアノソロ曲は、ニコラス・ホッジスによりルツェルンピアノフェスティバルにおいて初演されました。3年前に学生生活を終え、作曲家としての自分だけの道とは何か、いろいろ悩みながら模索中ですが、今回このような評価をいただき大変勇気づけられました。



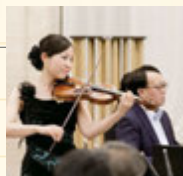
©Peter Fischli

上/演奏終了直後、ピアニストのニコラス・ホッジスと  
下/他2人のファイナリスト、ニコラス・ホッジス、マーク・ザットラー(ルツェルン音楽祭)と

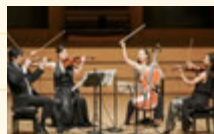


## 2020年に向けて

しまだ まちこ  
島田 真千子 [ヴァイオリン] 1998、1999年度奨学生  
デトモルト音楽大学



デトモルト音楽大学留学を終え帰国してから、約15年が経ちました。来年2020年は、2015年に就任したセントラル愛知交響楽団のソロコンサートマスターと、同年結成したヴェリタス弦楽四重奏団が5年目という節目を迎えます。更に2020年は私にとってデビュー20周年!記念リサイタルの開催など、充実した1年になりそうです。近年はバッハの無伴奏作品全6曲公演やCDリリースなど、主にバッハに熱中してきました。今後もさまざまな作品に取り組み、従来の活動もさらに充実させて、精進していきたいと思えます。



上/バッハのチェンバロとヴァイオリンのためのソナタ全曲リサイタル(東京・春・音楽祭)  
下/2019年春に行ったヴェリタス弦楽四重奏団の東京、名古屋、沖縄ツアー



©Altus music



## 2つのロシアでのコンクールを通して

きたがわ ちさ  
北川 千紗 [ヴァイオリン] 2017、2018年度奨学生  
東京藝術大学、桐朋学園大学大学院



2018年は第1回国際ヴィクトル・トレチャコフ ヴァイオリンコンクール(第2位)、2019年は第16回チャイコフスキー国際コンクール(セミファイナル)に出場いたしました。これまで遠く未知の世界に感じていたロシアで、世界中から訪れる音楽家たちと時間をともにすることができました。そしてこの国の音楽への懐の大きさを感じました。これからもさまざまな国に赴き、音楽を愛する人々と触れ合う時間をたくさんつくっていきたいです。



上/国際ヴィクトル・トレチャコフコンクール(グラスノヤルスク・ロシア)  
下/第16回チャイコフスキー国際コンクール(モスクワ・ロシア)





## ヴァッパータル交響楽団にて

はやし ゆうすけ

林 悠介 [ヴァイオリン] 2007~2010年度奨学生

ウィーン国立音楽大学

ドイツのヴァッパータル交響楽団第1コンサートマスターとして、3シーズン目を迎えました。通常のオーケストラ演奏の他、オペラの公演などレパートリーが幅広いのですが、だいぶ慣れてきました。そのため、常にオーケストラ全体の響きにも耳を傾けることや、首席奏者や指揮者と十分にコミュニケーションをとることも、積極的に取り組んでいます。奨学金をいただき留学していた際、ハイレベルなコンサートやオペラの公演へ通っていたことや、ドイツ語や英語でリハーサルしたことが、大きな糧になったと実感しております。来年には、ソリストとしてベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を演奏するので今から楽しみです。



上/ファミリー向けコンサート、  
本拠地のHistorische  
Stadthalleにて  
下/オペラハウスのオーケストラ  
ピットにて



## CD「音の万華鏡」をリリース (ヴァイオリン&ギター)

はらだ りよこ

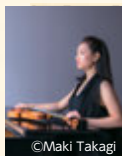
原田 亮子 [ヴァイオリン] 2008~2010年度奨学生

英国王立音楽院、ギルドホール音楽演劇学校

より多くの方々にクラシック音楽を身近に楽しんでいただきたい、という願いからコンサートシリーズ「音の万華鏡」を5年程前から続けており、次は第10回目となります。活動を続けるなかでギターの佐藤紀雄さんとの出会いは大きく、初めてのCDを今夏リリースしました。バッハから民俗・現代音楽まで多岐にわたる曲目を演奏し、これまでの"音楽"とは異なる面が私のなかで広がりました。すべての出会いに感謝を忘れず、より一層精進してまいります。



上/デビューCD「音の万華鏡」by  
ALM RECORDS(コジマ録音)  
音楽現代誌で推薦盤に  
下/シューベルトの「ます」を演奏した  
コンサートシリーズ第6回目



©Maki Takagi



## 留学とモントリオール国際音楽コンクール

もうり ふみか

毛利 文香 [ヴァイオリン] 2011、2014年度奨学生

桐朋学園大学ソリストディプロマコース、洗足学園音楽大学アンサンブルアカデミー

2015年秋にドイツのクロンベルクアカデミーにて留学を始め、尊敬する師匠はもちろん、著名な音楽家の方や、世界中から集まるハイレベルで個性豊かな仲間たちから素晴らしい刺激を受けながら、日々研鑽を積んでいます。その成果を今年のモントリオール国際音楽コンクールにて発揮でき、第3位という結果もついてきたことは、今後に向けて大きな励みになりました。さまざまな出会いや経験を糧に、ますます精進していきたいと思っております。



©Tam Lan Truong



©Tam Lan Truong

上/コンクールのファイナルにて  
下/コンクールの表彰式にて  
入賞者3人と



©Hisashi Morifuji



## 人のご縁に恵まれ気持ちを確かめられた夏

くらだ てっぺい  
黒田 哲平 [ピアノ] 2017, 2018年度奨学生  
桐朋学園大学



©井村重人

2019年は夏の始まりをドイツとオーストリアで迎えました。2月に引き続いての訪問で、習いたかった先生のレッスンを受ける機会に再び恵まれました。そして8月は、韓国へセミナーを受けに行きました。アジアへの旅行は初めてで、日本とも異なる情趣は印象的でした。同時にコンクールも開かれ、第2位をいただきました。また、ありがたいことに留学へつながるご縁もあり、今後ますます精進していこうと誓った夏の出来事でした。



韓国でのコンクール会場の近くのお寺にて



## ベルギー演奏旅行記

はやし ゆたか  
林 裕 [チェロ] 1997年度奨学生  
フライブルグ音楽大学



2018年11月にセルヴェ協会の15周年にゲストとして迎えられ、セルヴェの生まれ故郷ハレでリサイタルを行いました。先行発売したCD『Fantaisie de Servais』の効果も相まってチケットは完売になり、セルヴェ作品で構成されたコンサートは、ベルギーの人々にとって記憶に残るものになったようです。またセルヴェ協会の“アニヴァーサリー・ディナー”において協会の名誉会員として認められ、さらに11月26日のセルヴェの命日は協会員10人程と一緒にお墓参りをするなどし、充実した1週間を過ごしました。



上/コンサートにて  
下/CD『Fantaisie de Servais』



## 1人の音楽家として社会に貢献できること

もりおか あゆこ  
森岡 有裕子 [フルート] 2008~2011年度奨学生  
パリ国立高等学院



帰国してからリサイタルや室内楽のコンサートだけでなく、アウトリーチ活動も行っています。ただ演奏を聞いてもらうだけでなく、五感すべてで音楽の持つ力を実感してもらえるよう努力しています。それは音大で(現在、国立音楽大学で後進の指導にあたっています。)学生たちを指導するときも同じです。2人の子育てをしながらの音楽活動はなかなかハードですが、いつもアンテナを張りのばし、さまざまな形で音楽家として社会に貢献できるよう邁進してまいります。



上/小学校でのアウトリーチ  
下/帰国後も、パリに行けばいつでも喜んで出迎えてくれる恩師と



## ヨーロッパでのチャレンジと日本での挑戦

おかもと せいじ  
**岡本 誠司** [ヴァイオリン] 2015、2016年度奨学生  
東京藝術大学

2017年より在学していたベルリンのハンス・アイスラー音楽大学の修士課程を修了し、2019年の秋からは同じくドイツのクロンベルク・アカデミーでの研鑽が始まります。ヨーロッパと日本を行き来しながらの演奏活動も3年目に入り、この夏には、2016年のローム・スカラシップ コンサートでの反田恭平さんとの初共演がきっかけでコアメンバーとして参加することになったアンサンブル団体"MLMナショナル管弦楽団"の一員として、売席満席となったサントリーホールを含む5公演のツアーを行いました。



上/4年に1度のエリザベート王妃国際コンクールのファイナルにて  
下/リスト兼コンサートマスターとして出演したMLMナショナル管弦楽団のツアー



©TAKUMI JUN



## スイスでの4年目、新しく続く挑戦

いしい ふろこ  
**石井 楓子** [ピアノ] 2016、2017年度奨学生  
パーゼル音楽院

2019年9月にオーストリアで行われた第26回ブラームス国際コンクールで第3位を受賞しました。ローム ミュージック ファンデーションにご支援いただいたことはヨーロッパでの最初の2年の大きな支えとなり、感謝の思いが尽きません。今後スイスでは秋にアールガウ交響楽団、パーゼル交響楽団との共演、日本では11月に北沢タウンホールでのリサイタル、2月に日本センチュリー交響楽団との共演があり、スイスと日本で演奏させていただける環境に改めて感謝しながら、毎日を大切に頑張っていきたいと思っています。



上/ブラームス国際コンクール第3位とリサイタルの特別賞を受賞  
下/本選ではEuro Symphony SFK Orchesterとブラームスの協奏曲第2番を演奏



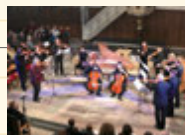
©Miki Buckland



## 心ひろく。音でかける虹

かみむら あやの  
**上村 文乃** [チェロ] 2015、2017年度奨学生  
パーゼル音楽院

私の留学生活も早6年が経ち、ふと1歩引いて己を振り返ったとき、自分のなかで価値観や考え方が大きく変化したことに驚いています。昨年モダンチェロのマスターを卒業し、現在は古楽科にてバロックチェロを専攻しています。当時の慣習にのっとった演奏と、21世紀に生きる私たちにとっての音を考える日々。飛行機に乗ると世界中あつという間に移動できてしまう世の中ですが、人の心を動かすのはなかなか易しいことではありません。来年で完全帰国ですが、留学で得た発見や気づき、心の色を絶えず観察して、これからも精進していきたいです。



上/古楽会の巨匠シゲルヴァルト・クイケン氏と、通奏低音としてのはじめての演奏会にて  
下/CG×日本舞踊×チェロのコラボレーション  
今年の霧島国際音楽祭にて



©K.Mitara



ふかせ れん

深瀬 廉 [バトン]

2016、2018年度奨学生  
ベルリン芸術大学大学院

ROOM ミュージック ファンデーション奨学生の深瀬廉です。

2019年3月からの半期、さまざまな機会でご演奏させていただきました。

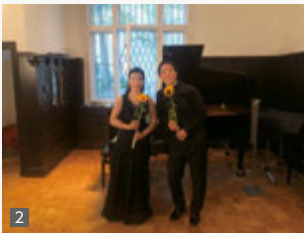
5月にはドイツ民主共和国(DDR)時代の歌曲に関するフォーラムがハノーファー音楽大学で開催され、ベルリン芸術大学の現代歌曲のクラスの一員として演奏してきました。その時代の歌曲は社会的事象に関連した作品がほとんどなので、演奏技術はもちろん、詩の文脈を理解した上で説得力のある演奏が求められました。歌曲という分野は、オペラのように詳細な物語や感情変化が明確に描かれることがなく、また舞台装置に助けられることもないので、音楽と言葉の説得力が舞台上で物を言います。十分な表現ができたと思われ、手応えを感じられた舞台でした。

今年2019年はクララ・シューマンが生まれて200年目の記念の年です。そこで、同じくROOM奨学生であったピアノの梅村知世さんと一緒に、ベルリンと日本にてシューマン夫妻のプログラムで演奏会を催しました。クララの作品はもちろん、歌曲の金字塔とも言える「詩人の恋」や「リーダーグライス Op.24」を全曲通して歌うのも初めてでした。特に「詩人の恋」は全部で16曲なので、それぞれの曲の関係性を演奏に反映する必要があると感じたとき、全曲を通して演奏する意味を考えさせられました。

6月からはラインスベルク国際声楽コンクールの受賞者としてオペラのプロジェクトに参加していました。今回私が出たオペラ「オラーツィオ兄弟とクリアーツィオ兄弟」は、私にとって初めてのバロックオペラでした。指揮者はイタリアバロックに詳しい方なので、レチタティーヴォの歌い回しのバリエーションなど綿密に教えてくれました。

8月からはハンブルクでオペラ「ドン・ジョヴァンニ」の稽古が始まります。今回学んだことを生かせる絶好の機会なので、オペラ歌手としての表現力に磨きをかけてまいります。

最後になりましたが、2年間にわたるご支援に感謝申し上げます。これからも1人の音楽家として、日本・海外で感動を伝えられるよう精進いたします。



- 1 DDR歌曲演奏後、ホッとするととき
- 2 ベルリンにて、ピアノの梅村知世さんと
- 3 オペラにて、6mの高さから初めて歌いました



ROOM ミュージック ファンデーション ブログでは、現役奨学生からの





©Shigeto Imura



ひつもと るね

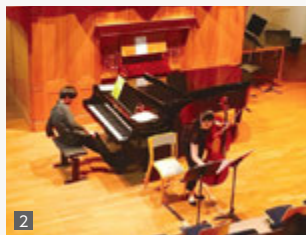
榎本 瑠音 [チェロ]

2018, 2019年度奨学生

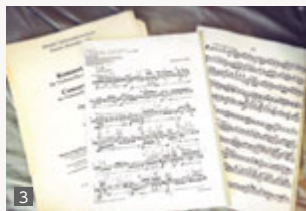
パリ地方音楽院



1



2



3

1 コンクールでいただいた賞状

2 試験前の試演会

3 コンクールで弾いた曲たち

ローム ミュージック ファンデーション奨学生の榎本瑠音です。パリでの滞在も、もうすぐ2年目を迎えます。思い返せば、滞在許可を得るのが予想以上に困難だったり、パリの街がデモで荒れたり、ノートルダム寺院が火災にあったり、常に落ち着かない状態でしたが、最近になってやっと音楽に集中できるようになりました。

音楽院では、マリー・ポール・ミロヌ先生にソロの指導をしていただいています。先生から学ぶことは、作曲者をより深く理解し、楽譜を深く読み取り、それを演奏と言う形で表現することです。今まで自ら立ち入るのを避けていた領域から演奏を見直す機会をいただいて、自分の演奏が変わってきました。新しい曲にチャレンジしながらも、今まで何度も弾いてきた曲も、初めて出会うかのように新鮮な気持ちでさらに直しています。

アンサンブルでは、主にラヴェルの曲を学習しました。パリに住みその文化を良く知ることで、ラヴェルやその他の作曲家のフランス独特の和音感をより良く把握し表現できるようになった気がします。いつか、私のラヴェルやドビュッシーの演奏から、フランスの空気を感じ取っていただけるようになりたいものです。

2月にはConcours des lyres des artsコンクールに参加し優勝しました。6月には学校で年度末の最大の試験があり、最高位の très bien à l'unanimité et félicitationsをいただくことができました。秋には、パリで行われるコンクールに参加するつもりで、準備中です。

学校の行事で、パリ市内の美術館や病院など、公共施設で何度も演奏会をし、いつも驚くほどたくさんの方々ที่聴きにきてくださいました。パリの人々にとってクラシック音楽は身近で、気負うことなしに楽しむものだというのが私にはうれしい驚きでした。パリではクラシックのコンサートも多く行われますが、生活の一部になっているのが素敵だと思いました。

コンサートには頻繁に足を運んでいます。パリには世界的な演奏家のコンサートが多く、日本で出会ったことがないような素晴らしい演奏に頻繁に触れることができます。こんな環境のなかで学べるのは本当に幸せだと思えます。

レポートや財団の事業の紹介などを掲載しています。

<https://micro.rohm.com/jp/rmf/blog/>



## ロームシアター京都 ミュージックサロン

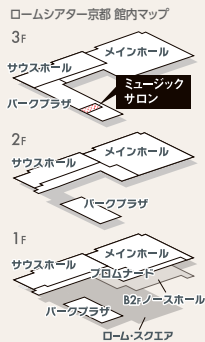
ロームシアター京都の開館と同日である2016年1月10日にオープンしたミュージックサロン。音楽とさまざまな形で触れ合うことができる施設として各種イベントを開催し、これまでに多くのお客様にご来場いただいています。

### ■「ミュージックサロン」施設概要

場 所：ロームシアター京都 パークプラザ3階東側  
面 積：約96㎡  
定 休 日：臨時休館日を除き年中無休  
営 業 時 間：10:00～19:00  
利 用 料 等：無料、原則出入り自由（一部整理券が必要な場合あり）  
主 要 設 備：7.1chサラウンドシステム、120インチスクリーンプロジェクター、演奏スペースなど  
主 な 開 催 内 容：コンサートなどの映像・音源の放映、イベント（コンサート、セミナー、資料展示等）の開催



©上田祐勢



## ミュージックサロン スケジュール

期 間		内 容
2019.3/30-31	イベント	トーク&コンサート ベートーヴェンの世界～ヴァイオリンが告げる春～
4/1～4/14	上映会	魂の楽器ホルン オン ザ・スクリーン
4/15～5/6	上映会	ローム ミュージック フェスティバル オン ザ・スクリーン
5/7～5/31	上映会	京都・国際音楽学生フェスティバル オン ザ・スクリーン
5/11-12	イベント	トーク&コンサート モーツァルトの世界～ピアノ・ソナタで楽しむモーツァルト～
6/1～6/15	上映会	魂の楽器ホルン オン ザ・スクリーン
6/16～6/30	上映会	オーボエで歌い・舞う! オン ザ・スクリーン
7/1～7/15	上映会	ハープの優雅な調べ オン ザ・スクリーン
7/16～8/1	上映会	木管のお父さんファゴット オン ザ・スクリーン
7/20-21	イベント	トーク&コンサート モーツァルトの世界～モーツァルトで巡るウィーンへの旅～
8/3～9/12	上映会	スカラシップ コンサート オン ザ・スクリーン
9/7-8	イベント	トーク&コンサート モーツァルトの世界～モーツァルトの光と影～
9/14～12/5	展示会	オペラの扉2019～KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION～

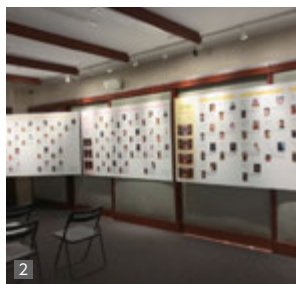
2019.8/3～9/12 上映会

## ローム クラシック スペシャル ローム ミュージック ファンデーション スカラシップ コンサート オン ザ・スクリーン

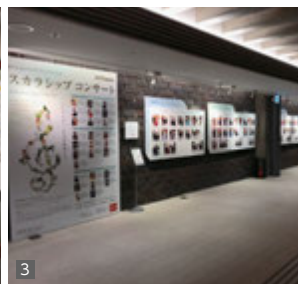
2013年から毎年開催している、ローム ミュージック ファンデーションの奨学援助を受けて世界中の音楽学校で学んだ学生が出演する「スカラシップ コンサート」の過去の映像を、全出演者の当時の写真とプロフィールを紹介するパネル展示とともに放映しました。



1 2 3階ミュージックサロンでの展示



3 1階プロムナードでの展示

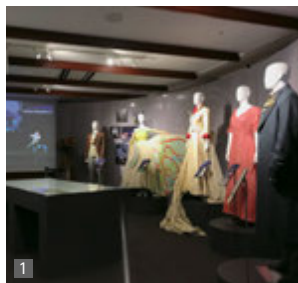


2019.9/14～12/5

## オペラの扉2019 ～KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION～

新国立劇場が「ひとりでも多くの高校生にオペラを知っていただきたい」との思いで1998年から実施している「高校生のためのオペラ鑑賞教室」。その関西公演が行われる時期に合わせて、昨年に続き、今年も「オペラの扉2019～KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION～」を開催しました。

実際にオペラで実際に使用された衣裳を中心に小道具の数々や、1904年にミラノ・スカラ座で蝶々夫人が初演された際に描かれた衣裳スケッチ画の原画などの歴史的に貴重な資料を展示。多くの方にご来場いただき、オペラに親しんでいただいています。



1 2 3階ミュージックサロンでの展示



3 1階プロムナードでの展示



2019.3/30・31

トーク&コンサート

## ベートーヴェンの世界 ～ヴァイオリンが告げる春～

---

作曲家シリーズとしてベートーヴェンにスポットを当てお送りする第3弾は、“ヴァイオリン”。さまざまな視点からベートーヴェンの魅力に迫りました。オーケストラ、室内楽、ソロなど多彩な活動を行う、ヴァイオリニスト・神谷未穂さんと、ピアニスト・佐藤彦大さんに、演奏とお話を交えてご紹介いただきました。



2019.5/11・12

トーク&コンサート

## モーツァルトの世界 ～ピアノ・ソナタで楽しむモーツァルト～

---

ベートーヴェンに次ぐ作曲家シリーズは、モーツァルト。

その第1弾は、“ピアノ”に焦点を当て、日本人として初めてモーツァルト国際コンクールで優勝したピアニスト・菊池洋子さんに、3曲のピアノ・ソナタを通してモーツァルトの世界をご紹介いただきました。

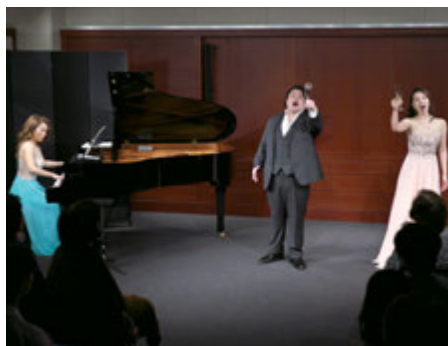


2019.7/20・21

トーク&コンサート

## モーツァルトの世界 ～モーツァルトで巡るウィーンへの旅～

モーツァルトシリーズ第2弾は“歌”。数々のオペラを作曲したモーツァルトは歌にどのような思いをはせていたのか。ソプラノ・市原愛さんとテノール・宮里直樹さんが、ピアニスト・水野彰子さんとともにオペラや歌曲を通してモーツァルトの魅力に迫りました。



2019.9/7・8

トーク&コンサート

## モーツァルトの世界 ～モーツァルトの光と影～

モーツァルトシリーズ最終回は“ヴァイオリン”をテーマにお届けしました。長調と短調のそれぞれのソナタなどを通して、モーツァルトが持つ「光」と「影」の部分をヴァイオリニスト・小林美樹さんと、ピアニスト・岡田奏さんに演奏とお話でご紹介いただきました。



# 奨学生一覽

(各分野五十音順)

## ヴァイオリン／106人

青木 尚佳  
青谷 友香里  
アシュリー マリア アヤ  
東 珠子  
荒井 優利奈  
安彦 千恵  
伊賀 あや  
石橋 幸子  
泉原 隆志  
礪 絵里子  
糸井 真紀  
伊藤 文乃  
井上 奈央子  
上野 明子  
植村 太郎  
植村 菜穂  
植村 理葉  
牛草 春  
エリック・シューマン  
尾池 亜美  
王 中男  
大江 馨  
大岡 仁  
大島 莉紗  
大関 万結  
大谷 玲子  
岡崎 慶輔  
岡本 誠司  
小川 恭子  
小野 明子  
榎本 大進  
加野 景子  
神尾 真由子  
神谷 未穂  
川村 奈菜  
木嶋 真優  
岸本 萌乃加  
北川 千紗  
城戸 かれん  
木村 悦子  
清永 あや  
日下 紗矢子  
倉富 亮太  
黒川 侑  
郷古 廉  
小林 啓成  
小林 美緒  
小林 美樹  
佐橋 まどか  
佐藤 久成  
篠原 悠那

志満 直美  
島田 真千子  
島原 早恵  
清水 有紀  
白井 麻友  
菅井 京子  
鈴木 愛理  
鈴木 舞  
周防 亮介  
高木 凜々子  
滝 千春  
瀧村 依里  
島田 悠子  
立上 舞  
田中 晶子  
田中 晶子  
谷本 華子  
玉井 菜採  
千葉 水晶  
辻 彩奈  
坪井 夏美  
土岐 祐奈  
長尾 春花  
中島 麻  
中村 太地  
成田 達輝  
西川 茉莉奈  
西澤 和江  
二瓶 真悠  
服部 百音  
林 悠介  
原 麻里亜  
原田 亮子  
福田 廉之介  
藤江 扶紀  
外村 理紗  
前田 志乃  
正戸 里佳  
松川 暉  
松田 理奈  
三上 亮  
村田 美英  
毛利 文香  
守屋 剛志  
森山 まひる  
安田 理沙  
矢野 玲子  
山根 一仁  
梁 美沙  
弓 新  
湯本 亜美  
吉江 美桜

吉田 南  
米元 響子  
渡邊 ゆづき

## ヴィオラ／13人

赤坂 智子  
有富 萌々子  
大野 若菜  
金丸 葉子  
坂口 翼  
杉田 恵理  
瀧本 麻衣子  
田原 綾子  
中島 悦子  
原 麻理子  
牧野 葵美  
山崎 智子  
渡邊 千春

## チェロ／38人

伊東 裕  
伊藤 悠貴  
上野 通明  
植村 葉夏  
山口 心一  
遠藤 真理  
岡本 侑也  
奥田 なな子  
香月 麗  
加藤 文枝  
門脇 大樹  
上村 文乃  
唐沢 安岐奈  
熊澤 雅樹  
佐々木 蘭望  
笹沼 樹  
佐藤 晴真  
高木 慶太  
辻本 玲  
中木 健二  
長谷川 彰子  
林 裕  
櫃本 瑠音  
平野 朝水  
藤井 泉  
藤原 秀章  
堀江 牧生  
松山 翔子  
マーク・シューマン  
水野 優也  
三井 静  
峰本 更  
宮田 大

森田 啓佑  
山上 ジョアン 薫  
山本 徹  
横坂 源  
渡邊 方子

## クラシックギター／4人

谷辺 昌央  
藤元 高輝  
松本 大樹  
山田 唯雄

## ヴィオラ・ダ・ガバ／1人

酒井 淳

## フルート／20人

阿部 礼奈  
井坂 実樹  
岩瀬 桐子  
上野 星矢  
大久保 彩子  
久保 順  
倉田 優  
小山 裕幾  
庄田 奏美  
瀧本 実里  
竹山 愛  
中村 薫  
萩原 貴子  
藤井 香織  
本宮 湖心  
増本 竜士  
森岡 有裕子  
八木 瑛子  
若林 かをり  
渡邊 玲奈

## オーボエ／4人

荒 絵理子  
岡山 理絵  
田代 奏子  
本多 啓佑

## クラリネット／10人

梅原 希枝  
金子 平  
小林 知世  
小山 洋子  
白子 正樹  
辻本 聡子  
中川 知美  
原田 綾子  
福田 さあや  
吉田 誠

## サクソフォン／2人

住谷 美帆

中島 諒

ファゴット／3人  
小山 莉絵  
中野 陽一郎  
藤村 踊子

## トランペット／2人

菊本 和昭  
佐藤 友紀

## トロンボーン／2人

清水 真弓  
山本 浩一郎

## ユーフォニウム／2人

安東 京平  
佐藤 采香

## 打楽器／5人

池上 英樹  
岩見 玲奈  
沓野 勢津子  
通崎 睦美  
福山 直子

## ハープ／5人

景山 梨乃  
シュレイファー 弓子  
高野 麗音  
林 千佳世  
福井 麻衣

## パイプオルガン／1人

椎名 雄一郎

## チェンバロ／2人

北御門 はる  
脇田 英里子

## ピアノ／135人

浅野 未麗  
有吉 亮治  
五十嵐 薫子  
石井 楓子  
石川 武蔵  
石田 啓明  
石村 純  
乾 絵美  
今井 彰子  
今田 篤  
入江 一雄  
岩本 恵理  
梅村 知世  
江澤 茂敏  
江尻 南美  
岡田 奏



大井 浩明  
大崎 結真  
太田 糸音  
大西 真由子  
岡本 麻子  
奥田 晓仁  
奥村 友美  
小沢 麻由子  
越知 晴子  
小野田 有紗  
海瀬 京子  
梯 剛之  
柏原 佳奈  
加藤 大樹  
加藤 洋之  
加野 瑞夏  
神野 千恵  
河内 仁志  
川崎 翔子  
川島 基  
川田 健太郎  
河村 尚子  
菊地 裕介  
菊池 洋子  
喜多 宏丞  
清塚 信也  
日下 知奈  
工藤 奈帆美  
久保 千尋  
倉澤 杏菜  
黒岩 航紀  
黒田 哲平  
小井土 文哉  
高 実希子  
壽 千明  
小林 愛実  
小林 有沙  
小林 海都  
齊藤 一也  
阪田 知樹  
坂本 真由美  
崎谷 明弘  
佐々木 宏子  
佐竹 裕介  
佐藤 卓史  
佐藤 彦大  
佐藤 麻理  
佐藤 元洋  
佐野 まり子  
紫垣 英二  
志鷹 美紗  
釈迦郡 洋介

白川 多紀  
菅野 雅紀  
鈴木 謙一郎  
住友 郁治  
関本 昌平  
芹澤 佳司  
反田 恭平  
高田 匡隆  
高橋 礼恵  
内匠 慧  
田中 香織  
田中 正也  
田村 響  
千葉 遥一郎  
津嶋 啓一  
津田 裕也  
鶴見 彩  
土居 知子  
中尾 純  
中桐 望  
中島 彰  
長瀬 賢弘  
中元 千鶴  
奈良 希愛  
新美 光映  
沼澤 淑音  
野上 真梨子  
萩原 麻未  
橋本 尚  
服部 慶子  
花岡 克典  
浜野 与志男  
林田 麻紀  
樋口 一朗  
久末 航  
日高 志野  
平松 悠歩  
福田 和子  
藤田 真央  
真隅 政大  
松尾 久美  
松岡 淳  
松本 和将  
丸山 耕路  
丸山 瓜乃  
萬谷 衣里  
Elezovic MIA  
三浦 友理枝  
三戸 あけみ  
三宅 麻美  
宮下 彩子  
宮田 理生

務川 慧悟  
村田 理夏子  
村松 珠美  
森田 義史  
矢島 愛子  
山田 剛史  
山本 亜希子  
吉兼 加奈子  
ティーテン 吉川 右希子  
吉田 友昭  
吉武 優  
吉見 友貴  
米津 真浩  
李 早恵  
脇岡 洋平  
オルガン／2人  
福本 茉莉  
宗 かおり  
声楽／59人  
石井 教子  
市原 愛  
乾 麻里子  
上杉 清仁  
江口 輝博  
大島 京子  
岡田 昌子  
加藤 史幸  
加藤 麻衣  
川島 幸子  
川原 成子  
木下 周子  
木下 美穂子  
木村 善明  
木村 里花子  
蔵田 みどり  
小玉 晃  
小林 沙羅  
近藤 圭  
崔 宗宝  
坂本 知亜紀  
志摩 大喜  
清水 俊徳  
周 江平  
杉原 かおり  
鈴木 愛美  
田邊 織恵  
谷口 伸  
谷村 由美子  
田村 麻子  
趙 非  
津國 直樹

辻 裕久  
寺田 功治  
田 大成  
富岡 明子  
中川 恵美里  
中嶋 俊晴  
中島 康晴  
鳴海 真希子  
林 佑子  
深瀬 廉  
藤木 大地  
藤谷 佳奈枝  
本田 智衣  
又吉 秀樹  
松島 理紗  
松原 友  
真野 路津紀  
溝淵 悠理  
峯島 望美  
宮里 直樹  
森野 美咲  
山下 新吾  
山本 美央  
吉澤 淳  
吉田 貴子  
監 野流  
李 恩敬  
指揮／21人  
粟辻 聡  
石川 星太郎  
伊藤 翔  
垣内 悠希  
川本 貢司  
岸本 有理  
鬼原 良尚  
齊藤 一郎  
阪部 慎太郎  
篠崎 靖男  
下野 竜也  
杉本 優  
橋 直貴  
寺岡 清高  
阪 哲朗  
三ツ橋 敬子  
村上 寿昭  
村中 大祐  
森 香織  
森口 真司  
森田 宏樹

作曲／21人  
阿部 俊祐  
稲森 安太己  
今井 智景  
北爪 裕道  
木下 正道  
小出 稚子  
酒井 健治  
坂田 直樹  
塚本 瑛子  
中川 佐織  
夏田 昌和  
朴 炳五  
松宮 圭太  
松本 直祐樹  
ママツウメル  
向井 響  
向井 航  
山口 紘  
李 大軍  
渡邊 愛  
渡辺 裕紀子  
教会音楽／1人  
小山田 薫  
音楽学／17人  
金 士友  
貞方 マキ子  
周 耘  
白石 悠里子  
菅沼 起一  
関本 菜穂子  
園田 みどり  
高野 裕子  
東田 範子  
戸祭 哲子  
中村 伸子  
西村 理  
畑野 小百合  
早坂 牧子  
丸山 瑤子  
村田 圭代  
李 金叶  
オペラ演出／4人  
井原 広樹  
郭 才銀  
馬 金泉  
森岡 純子

計 48人

(2019年10月現在)



ローム ミュージック フレンズ No.9

—ロームミュージックファンデーションの音楽文化支援情報誌—

発行 2019年10月

企画・発行：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

〒615-0044 京都市右京区西院西中水町1

TEL (075) 311-7710 FAX (075) 311-0089

<https://micro.rohm.com/jp/rmf/>

協 賛： **ローム株式会社**

この情報誌に掲載の写真・文章の無断転載を禁じます。

2019.10.7K

UD  
FONT

